

くすの木タイム学習指導案

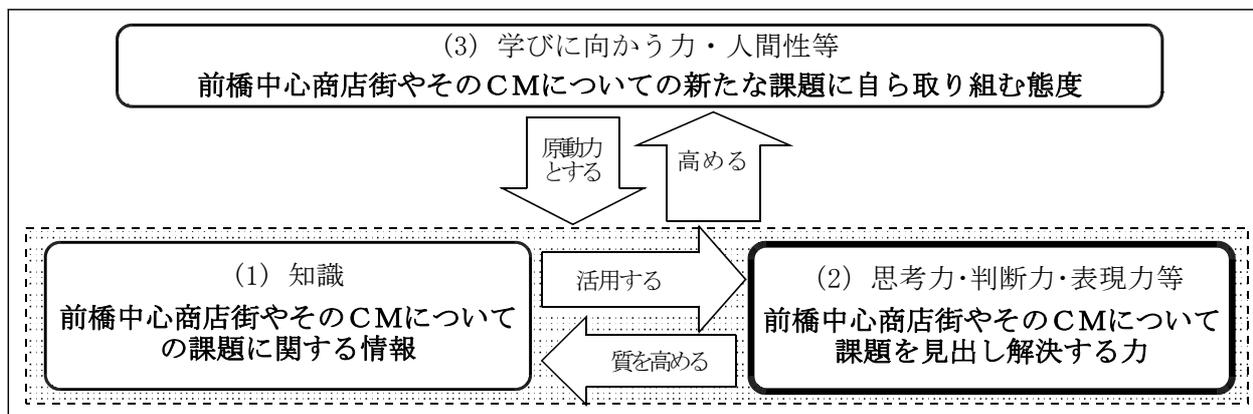
第6学年

I 単 元 ふるさと笑顔プロジェクトー前橋㊦㊧㊨㊩部ー

II 考 察

1 教材観

(1) 育まれる主な資質・能力とその関係



(2) 学習内容

- ・学習対象：前橋中心商店街（以下、商店街）の方と、商店街の文化
- ・学 習 材：CM制作
- ・学習事項：商店街の方や商店街の文化の特徴やよさ，CMの特徴やよさ
他者と関わること，立場を変えて物事を見ることの大切さ
自分自身の取組への自信，商店街の方や文化と自分とのつながり

(3) 単元と学習対象・学習材の価値

大単元「ふるさと笑顔プロジェクト」は「前橋㊦㊧㊨㊩部」「前橋㊦㊧㊨㊩部」の小単元からなる。本単元は，子どもたちが，前単元で感じた商店街の特徴やよさをCMで発信する学習である。

本単元では，学習対象として「商店街の方と，商店街の文化」を取り上げ，学習材として「CM制作」を設けた。その価値は以下のとおりである。

前橋中心商店街は，前橋市の戦後の復興を支えた，創業100年を超える老舗が並ぶ「地域の顔」である。時代の変化によって，若者離れが進んだ時期もあったが，近年は，買物機能に加え，地域コミュニティ機能を備えた「まちなか」としての役割をもつことで市民の注目が集まり，若者が戻りつつある。「まちなか」の役割を発展させた取組の1つとして，市民がやりたい活動を提案し共感した人が集まって活動を共にする「前橋〇〇部」がある。

昨年度の「わが街前橋」の学習において前橋市に愛着をもった子どもたちは，商店街の若者離れの改善に一役買いたいと，「前橋㊦㊧㊨㊩部」を作って商店街でダンス公演をしてきた。若者世代からは楽しむ様子が見られたものの，日常的に商店街に通おうする様子は見られなかったことから，子どもたちは継続的に若者世代（親世代～中高生）に呼びかける取組として「前橋㊦㊧㊨㊩部」を作り，商店街の特徴やよさを発信するCM制作をすることにした。

CM制作は，取材，キャッチコピー，絵コンテ，撮影・編集と制作の過程が明確であり，試行錯誤できるため，見通しをもって取り組んだり自ら次の課題を見出したりしやすい。また，創意

工夫が求められる絵コンテ作りや、監督、カメラマン、演者等の役割分担が必要な撮影・編集といった一人ではできない活動が多いため、友達や商店街の方、若者世代の方、映像の専門家といった他者と何度も関わりながら協働して取り組む経験を重ねることができる。さらに、CM制作の根幹となる絵コンテ作りでは、商店街の方やCMのターゲットとなる若者世代の方の立場に立って内容を検討したり、映像を構成するフレームやカット、人物配置等の要素を工夫したりする必要があり、協働しながら様々な視点から分析的に見ることを繰り返すことができる。そして、解決が難しいこの社会問題の解決に向けて、CM制作を通して、他者と関わりその成果を共有することは、学級集団や社会の一員としての自己有用感の実感や協働性の向上に有効である。

これらの探究を通して、子どもたちは、自分自身の取組への自信や、商店街の方や文化と自分とのつながりの実感を得て、ふるさとへの貢献意識を高めていく。

(4) 今後の学習

ふるさとへの貢献意識を高めるここでの学習は、中1「地域で働く人から学ぼう」において、子どもたちが地域の方の職業調べや職業体験をして捉えた、その職業の特徴や働くことのよさを発信するといった、自らの勤労観と社会参画意識を高める学習へと発展していく。

2 児童の実態及び指導方針

子どもたちは、6年「前橋(笑)(泣)部」において、商店街の方や市民と繰り返し関わりながら商店街で市民による町おこしの取組としてダンスを練習しダンス公演に参加してきた。この学習の中で、明らかになった子どもたちの実態及び本単元を進めるにあたっての指導方針は、次のとおりである。

(1) 商店街の方や市民が楽しめるダンス公演に向けて、ダンスの曲や振り付け、構成を決める上で、商店街の方や市民と繰り返し関わり、商店街の方や商店街の文化の特徴やよさを捉えてきている。このような子どもたちが、さらに商店街の方や商店街の文化の特徴やよさを捉えられるように、商店街に呼び込みたい若者世代に向けたCM制作を学習材として設け、商店街の方や若者世代の市民と繰り返し関わる場を設定する。

(2) 商店街やダンスについて課題を見出し、その解決につながる考えを導いたり、実践したりできるようになってきている。このような子どもたちが、さらに、商店街やCMについての課題の解決に向けて情報の関係や傾向を見出して課題を見出したり解決方法を導いたりできるように、課題を解決した状態の具体化と、情報や考えを可視化するシートの用意をする。

(3) ダンス練習や試しのダンス公演、商店街でのダンス公演についての振り返りを基に次の課題を見出し、その解決に自ら取り組めるようになってきている。このような子どもたちが、CM制作のための取材や絵コンテ、撮影・編集での振り返りを基に次の課題を見出し、その解決に自ら取り組めるように、課題を解決した状態に照らして、課題の解決状況を把握する場を設定する。

Ⅲ 目標及び評価規準

Ⅳ 指導計画 ※Ⅲ・Ⅳについては、指導と評価の計画参照

Ⅴ 本時の学習

- ねらい 互いのCMの絵コンテについて班で話し合い、絵コンテのよさと改善点を基に、改善策を導いている。
- 準備 PMNの枠付箋紙 「目指す絵コンテの要素」を示した図 学習プリント
- 展開

学習活動と子どもの意識

指導上の留意点

- 1 本時のめあてをつかむ。
- ・ぼくの描いた「着物の小川屋の『世代をまたぐ思い出の場』」の絵コンテを、「目指す絵コンテの要素」に照らすと、若者世代が商店街に来たくなるCMにつながる絵コンテになっていないな。
 - ・友達からPとMを聞いて、改善していきたいな。
- 2 班で、各々の絵コンテのよさ(P)や改善点(M)を伝え、それらを基に改善策を話し合う。
- ・友達からPとMを聞くと、まだ目指す絵コンテになれていないのが分かるな。Mの「あまり印象に残らない」ってどうしてかな。

P	M
<ul style="list-style-type: none"> ・台詞がシンプル ・主役が母親で若者世代の興味を引ける 	<ul style="list-style-type: none"> ・あまり印象に残らない ・何の場面か分かりにくい

- ・友達の言うように、「目指す絵コンテの要素」にある「フレームの大きさ」が変わらないから、淡々と過ぎていく感じがするのかもな。
 - ・「顔をアップするフレーム」を入れれば笑顔の表情が際立って印象に残るな。主役の母親の出る2コマ目を「顔をアップするフレーム」に変えようかな。
 - ・2コマ目を「顔をアップするフレーム」にすると、友達の言うように、この絵が写真であることが伝わらないな。1コマ目を「顔をアップするフレーム」にすればいいな。
 - ・Mの「キャッチコピーが『世代をまたぐ』になる理由が分からない」を改善するには、「『創業141年の歴史』を台詞で加える」といいかな。
 - ・友達の言うように、Pの「台詞がシンプル」が消えてしまうとよくないな。4コマ目に「テロップで『創業141年の歴史』を加える方がいいな。
 - ・PやMを見つけた友達のおかげで、改善策が導けたな。友達の絵コンテの改善策も考えたいな。
- 3 本時の学習のまとめをする。
- ・小川屋のよさである『世代をまたぐ思い出の場』が伝わって商店街に行ってみようと思えるCMの絵コンテに改善できそうだな。

- 友達と絵コンテのよさ(P)と改善点(M)を基に改善策を話し合うという本時の見通しをもてるように、「目指す絵コンテの要素」を示した図を提示し、今の絵コンテの課題の解決状況と本時取り組むことを問いかける。
- 絵コンテのコンペに向けて客観的にPやMを伝えて改善策を話し合えるように、CMにするテーマが互いに異なる子ども同士の班を編制する。
- 絵コンテのPやMと、それを処理する方向が可視化できるように、PMNの枠を記したシートを用意し、前時にPやMを書いた付箋紙を貼るよう促す。
- 改善策を導く根拠として、絵コンテのPやMと、その理由を基にできるように、友達の考えたPやMの理由を友達に質問したり、PやMの理由を、「目指す絵コンテの要素」を示した図と照らしながら考えたりするよう促す。
- MだけでなくPからもさらなる改善策を導いたり、相反するPとMから折衷案を導いたりできるように、改善策を導く過程を例示する。
- 友達の見つけたPやMによって改善策が導けたことが視覚的に分かるように、改善策とその根拠となるPやMを矢印で結ぶよう促す。

評価項目

絵コンテのよさや改善点を根拠として改善策を記述したり発言したりしている。 <学習プリント・発言(2)>

- 今後の追究への意欲を高められるように、改善策と今後の取組を発言したり絵コンテを描き直したい思いをもてたりしたことを賞賛する。

指導と評価の計画（全40時間）

目標	町おこしとして商店街の方や商店街の文化の特徴やよさを伝えるCM制作をする中で、CMの特徴やよさを理解するとともに、繰り返し商店街の方や客と関わったり友達と話し合ったりすることを通して、商店街の方や商店街の雰囲気の特徴やよさ、立場を変えて物事を見る大切さを捉え、ふるさとを大切にしようとする思いや願いを養う。			
評価 規準	<p>(1 知識) 商店街の方や商店街の文化の特徴やよさを感じ取ったり、そのよさを伝えるCMの特徴やよさを理解したりしている。</p> <p>(2 思判表等) 商店街の散策や、商店街の方や専門家の話、試しの活動の振り返りを基に、商店街やそのよさを伝えるCM制作について友達と話し合い、学習のめあてや課題を把握したり、その解決につながる考えを導いたり、CM制作をしたりしている。</p> <p>(3 知識が構) 商店街の方と自分との関わりを基に、学習のめあてや新たな課題に自ら取り組みもうとしたり、商店街に貢献できた自信と、商店街と自分とのつながりの実感を基に、ふるさとを大切にしようとする思いや願いをもったりしている。</p>			
過程	時間	学習活動	指導上の留意点	評価項目<評価方法（観点）>
出 合 う	2	○ダンス公演を振り返って出た改善策と商店街組合長のCM依頼の話を中心に、学習のめあてをつかむ。	○取り組みたいこともてるように、改善策や商店街組合長の話振り返る「意外だったこと」の視点を提示する。	◇改善策や商店街組合長の話を中心に、取り組みたいことを記述したり発言したりしている。 <学習プリント・発言（3）>
		※学習のめあて：若者世代の人が商店街に来たくなるCMを作って、市民に愛されている割に若者離れが起きている商店街に、イベントの有無に関わらず来たくなる若者世代の人を今よりも増やそう		
さ ぐ る ・ ま と め る	2	○映像の専門家からCM制作の手順や方法、大切にすべきことについて教わる。	○CM制作の手順や方法、大切にすべきことを整理しながらまとめられるように、映像の専門家への質問の答えを書きやすいように項立てをした学習プリントを用意する。	◇CM制作の手順や方法、大切にすべきことを自分なりに記述している。 <学習プリント（1）>
	1	○学習のめあての達成に向けて、学習計画を立て、課題を設定する。 ※課題①：若者世代が知らない商店街のよさを見付けるにはどうしたらよいだろうか	○学習のめあての達成までの見通しをもてるように、学習のめあてを達成した状態を話し合う活動を設定する。	◇学習のめあての達成に向けて必要な活動を記述したり発言したりしている。 <学習プリント・発言（2）>
	6	○商店街を散策したり商店街の方や客にインタビューしたりして取材をする。	○再発見した商店街のよさを自覚できるように、取材したことを学級で共有する場を設定する。	◇再発見した商店街のよさを自分なりに記述したり発言したりしている。 <学習プリント・発言（1）>
	2	○試しに絵コンテを描き、互いの絵コンテを見合って、課題を設定する。 ※課題②：若者世代の人が商店街に来たくなるCMにつながる絵コンテにするには、どうしたらよいのだろうか。	○取り組みたいことをもてるように、試しの絵コンテと学習のめあてを達成した状態との比較を促すベン図を用意する。	◇試しの絵コンテと学習のめあてを達成した状態の相違点を基に、取り組みたいことを記述したり発言したりしている。 <学習プリント・発言（3）>
	1	○映像の専門家に絵コンテの状況を報告し、改善のポイントを聞く。	○演出方法等の絵コンテで大切なことを整理しながらまとめられるように、映像の専門家への質問の答えを書きやすいように項立てをした学習プリントを用意する。	◇絵コンテで大切なことを自分なりに記述している。 <学習プリント（1）>
	3	○商店街に行き、再度絵コンテを描く。	○絵コンテに加える背景やフレームの大きさの演出方法等を見直せるように、両手の指で四角形を作ってフレームを構想する方法を試す場を設定する。	◇演出方法等を見直して絵コンテを描いている。 <絵コンテ（2）>

	4	○絵コンテを見合い、班で改善策を話し合って、再度絵コンテを描き直す。(本時2/4)	○絵コンテのよさや改善点と、それを処理する方向が可視化できるように、PMNの枠を記したシートを用意する。	◇絵コンテのよさと改善点を根拠として改善策を記述したり発言したりしている。 ＜学習プリント・発言(2)＞
	2	○絵コンテのコンペを開き、学級と若者世代の人、商店街の方、映像の専門家の投票によってCM化する絵コンテを決める。	○これまでの探究で得たことを振り返られるように、学習プリントや教室掲示を見返す場を設定する。	◇投票する絵コンテを決めた根拠を、これまでの探究で得たことから記述している。 ＜投票用紙(1)＞
	4	○撮影の役割分担を決め、校内で試しの撮影・編集をし、課題を設定する。 ※課題③：若者世代の人が商店街に来たくなるCMにつながる撮影・編集にするには、どうしたらよいのだろうか。	○取り組みたいことをもてるように、試しの撮影・編集をした映像と学習のめあてを達成した状態との比較を促すベン図を用意する。	◇試しの撮影・編集をした映像と学習のめあてを達成した状態の相違点を基に、取り組みたいことを記述したり発言したりしている。 ＜学習プリント・発言(3)＞
	1	○映像作りの専門家に撮影・編集の状況を報告し、改善のポイントを聞いたり手本を見せていただいたりする。	○演出方法等の撮影・編集で大切なことを整理しながらまとめられるように、映像の専門家への質問の答えを書きやすいように項立てをした学習プリントを用意する。	◇撮影・編集で大切なことを自分なりに記述している。 ＜学習プリント(1)＞
	5	○人や物の立ち位置や台詞の言い方といった演出方法等を検討し、商店街での撮影・編集をし、学級で映像を見合って改善策を話し合う。	○撮影・編集した映像のよさや改善点と、それを処理する方向が可視化できるように、PMNの枠を記したシートを用意する。	◇撮影・編集した映像のよさと改善点を根拠として改善策を記述したり発言したりしている。 ＜学習プリント・発言(2)＞
	4	○再度撮影・編集をし、映像を若者世代の人や商店街の方、映像の専門家に見せる。	○今までの探究の成果を自覚できるように、若者世代の人や商店街の方、映像の専門家から映像を見た感想を聞ける場を設ける。	◇これまでの探究の成果を記述している。 ＜学習プリント(1)＞
生 か す ・ 広 げ る	2	○評価を基に修正をし、商店街のwebサイトにCMを載せていただくよう依頼する。	○評価を基に、撮影・編集した映像のよさや改善点を整理し、改善策を導けるように、PMNの枠を記したシートを用意する。	◇映像を修正した根拠を記述したり発言したりしている。 ＜学習プリント・発言(2)＞
	1	○CMを見た人の感想や商店街の方の反響を基に、今までの取組の成果をまとめ、単元全体の学習を振り返る。	○自らの取組への自信や、商店街と自分とのつながりの実感を得られるように、第1時と今の自分の認識とを比較し気付いたことを話し合う活動を設定する。	◇自らの成長や、ふるさとを大切にしようとする思いや願いを記述している。 ＜学習プリント(3)＞